

平成28年6月 洪水(梅雨前線)による出水状況 ～中筋川ダムにより河川水位を低減～

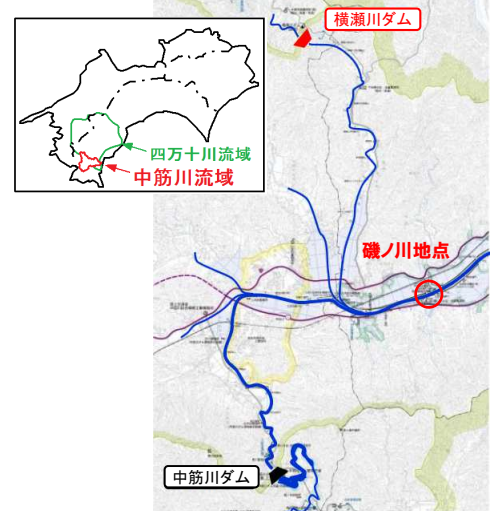
146mm(時間最大38mm)の雨

中筋川ダム上流域において、6月19日19時～6月21日13時にかけて **累計約146mm**
(時間最大38mm)の降雨となりました。

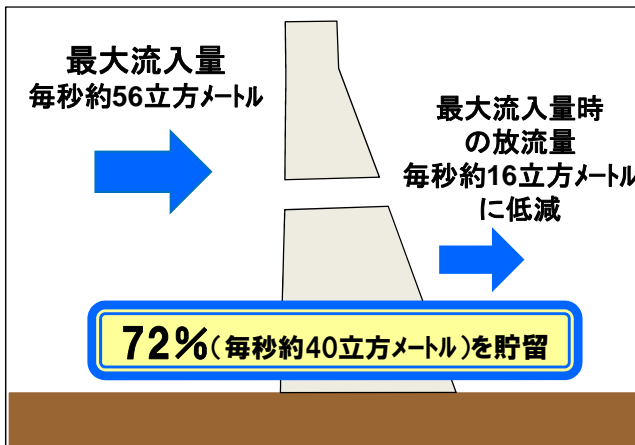
中筋川ダムにより72%を貯留

中筋川ダムへの最大流入量毎秒約**56立方メートル**の**72%を貯留**し、ダムからの放流量を毎秒約16立方メートルに低減しました。

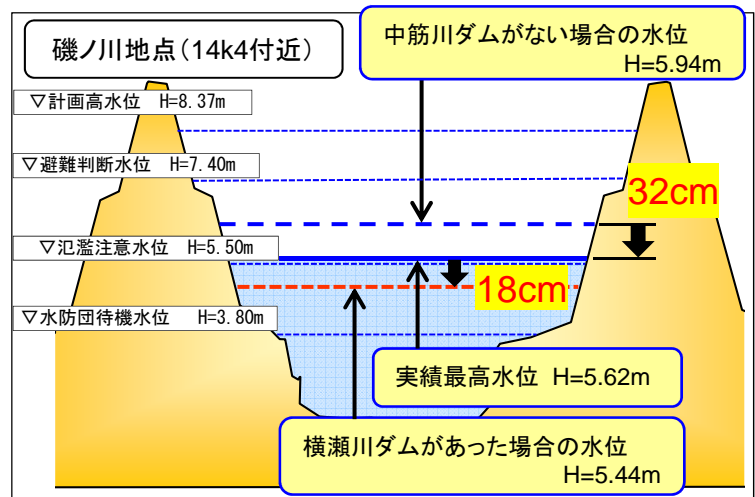
位置図



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を複製したもの(承認番号 平23四複、第84号)を一部転記したものである。



中筋川ダムの防災操作状況
(6月21日 5時00分)



※上記(H:量水標)の値に0.577mを加えた値が標高(m)となります。

中筋川ダムにより河川水位を低減

中筋川ダムの防災操作により、**磯ノ川地点では約32cm水位低減させ**、中筋川ダムが無かった場合は氾濫注意水位(5.50m)を越える5.94mであったと推測されますが、中筋川ダムにより河川水位を低減しました。

横瀬川ダムにより更に約18cm低減

横瀬川ダムがあった場合は**さらに約18cmの水位低減効果**が期待できたと推測されます。

※本資料の数値等は速報値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。